

2013.4.17. (9)

日

水曜日

享月

日



地球研・安成哲三所長

環境対策と防災・減災は一体

総合地球環境学研究所（地球研、京都市北区）の第3代所長に4月、安成哲三さん（65）が就任した。専門はアジア地域の気候・環境変動研究。

「地球環境問題の解決に向けた答えを出していかなければならない」と抱負を述べた。京都大理学部（現地球環境学）の学生時代は探検部に所属し、チリ・パタゴニアで古地磁気調査を担当した。大学院博士課程のころはネパール・ヒマラヤ氷河学術調査に参加し、1年以上にわたってヒマラヤ高所での気

候と氷河を観測。この体験がアジアモンスーン（ユーラシア大陸と熱帯太平洋地域で、夏に海から陸に向かって吹く季節風）を中心とする地球気候の変動・変化を研究する出発点に。その後、筑波大や名古屋大の教授などを務めた。東日本大震災や東京電力福島第一原発事故はエネルギー問題だけでなく、環境問題の重要性を改めて浮かび上がら

せた。「これまでの欧米を中心とした地球環境問題研究では、地震、津波などの災害をあまり考えてこなかった。環境対策は防災、減災と一緒にやらなくてはいけない」「一般の人たちとも連携し、その問題意識を研究に取り込んでいく必要がある。研究の成果を分かりやすく説明することも重要だ」と強調した。

（大村治郎）